

大会名	令和2年度 三重県高等学校バレーボール選手権大会兼 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会三重県予選大会			参加数	43
期 日	令和2年 11月7日(土) 8日(日) 14日(土)	会 場	第1日目：津高校・津商業高校 菟野高校・名張青峰高校 第2日目：津西高校 第3日目：三重交通Gスポーツの杜伊勢		
戦 績	1位	津商業(4年ぶり17回目)	3位	高田	
	2位	三重	3位	四日市商業	
戦 評	<p style="text-align: center;"> 津商業 3 26-24 25-17 0 三重 25-18 </p> <p style="text-align: center;">R (大塚雄司) · U (並木智香)</p> <p>8年連続同一カードとなった。第1セット、序盤から中盤にかけて、三重は浮ヶ谷(OP)のライト攻撃を中心に、15-10とリード。しかし、ここから津商がエース尾崎のサーブで崩し、中津(OH)のブロックなど6連続得点で逆転。その後、1点を争う攻防が続くデュースにもつれ込むが、結局最後の大事な場面でも、キャプテン中津のブロックが2本決まり、津商が先取。続く第2セットは、出だしから津商は池田(OH)や中津のレフト攻撃が冴え、12-5と大きくリード。三重もエース浮ヶ谷に玉を集め、何とか踏ん張るが、津商は両サイドからの攻撃で、三重のブロックに的を絞らせない。20-11と決定づけた。三重も粘りを見せるが、バックアタックを含めた津商の多彩な攻撃に反撃の糸口が見いだせなかった。第3セットもエース尾崎のみに頼らない津商の攻撃に、三重が守り切れず、点差が広がった。ここでも三重は浮ヶ谷を中心に何とか活路を見いだそうとするも、結局最後まで津商の勢いを止めることはできなかった。</p> <p>全体の流れとしては、接戦の第1セットを津商が制したことが大きかった。三重もエース浮ヶ谷とリベロ中村の活躍は目を見張るものがあったが、結果的には、3年生が中心である津商の春高への思いが、2年生中心の三重を上回ったとも言えるだろう。また、津商は「繋ぎ」という今年のテーマ通り、守備面でも安定しており、伝統復活の兆しを感じさせた。全国での活躍を期待したい。 戦評者名(強化委員 中瀬新悟)</p>				
備考	1. 各種別、男女毎に戦評をする。 2. 戦評は250字程度でまとめる。 3. リーグ戦で決勝戦のない場合は大会全体の所感をまとめる。				